

用地内15戸の闘いを先頭に二期工事を阻止しよう!

三・三〇三里塚現地集会は、三里塚第一公園に全国から一万八千名が結集して開催され、用地内十五戸を先頭とする反対同盟の強固な団結を、全国の闘う労働者・人民の力で守り抜き、二期工事阻止・空港廃港をかちとる八〇年代初頭の現地闘争として闘い抜かれた。動労千葉は、十時三十分、成田運転区における前段集会をかちとり、二一〇名をもって、現地集会に参加し、最後まで闘い抜いた。

政府・公団の反対同盟解体攻撃を粉碎し、今後も闘い抜く

集会は、内田寛一行動隊長の力強い開会宣言で始まった。

「本日の集会は、八〇年代最初の闘いだ。二期工事阻止・廃港をめざし、反対同盟は、強固な団結で闘っている。

昨今、政府・公団は、反対同盟解体攻撃をかけたが、同盟の一致団結によって農振策・成田用水問題・千代田事業所移転などを粉碎し今後も闘い抜く。

動労千葉の仲間や周辺住民と連帯して闘っている。

つづいて、石橋副委員長が入院中のため、木の根の小川源さんが主催者代表のあいさつ。

「二年前の三・二六闘争・管制塔の闘いで開港を阻止した。

しかし、政府・公団は、片肺空港として五・二〇開港を強行した。

昨年十二月十五日、事業認定の期限が切れ、我々は勝利した。

政府・公団は、収用法で、われわれから土地を取り上げることが出来ないとして、成田用水・農業振興策や千代田農協移転をもって、用地内と外とを分断しようとしてきた。

十四年間の闘いにふまえ、今後も徹底的に闘う。

三里塚の勝利なくして、全国の住民闘争の勝利はない

つづいて、北原事務局長から基調報告が行われる。

「三・二六開港阻止から二年、反対同盟十五年間の天王山をむかえている。

政府・公団は、公団用地の貸付け、成田用水、千代田事業所移転など反対同盟に対し、分断と懐柔策を行ってきた。

しかし、用地内十五戸を先頭に八〇年代にむかって二期工事阻止をかちとるまで闘い抜いている。労働者の闘いや住民闘争に敵対する革マル派を全国から追放し、動労千葉をはじめ、あらゆる闘う人民と連帯して闘い抜く。」

基調報告のあとは、動労千葉をはじめとする全国の支援、共闘団体からの連帯あいさつと決意表明。

集会の最後は、用地内を代表しての島村さん、小川嘉吉さんからの闘う決意表明。

そして、集会終了と同時に岩山記念館までのデモ行進を敢行し、二期工事阻止・空港廃港へむけた決意をうちかためたのである。

3.30 三里塚集會開催さる!

3月31日動労千葉佐倉支部結成さる。(詳号報)



動労千葉、210名の隊列で決起!